

# 北のスポーツ

NO. 74

2020年2月1日発行

発行責任者 新日本スポーツ連盟北海道連盟

島崎徳明

011-384-0736

## 第5回 平和大好きランニング&ウォーク in 札幌

2019年8月8日(日曜日)午後1時より、ランニングは豊平川南9条大橋下、ウォークは中島公園・護国神社周辺を会場にして開催しました。

今回は一昨年「北海道胆振東部地震」のような自然災害の影響がなく、暑い日差しの中での開催でした。参加者は、北海道連盟に所属各競技団体(山・卓球・スキー・水泳・テニス・野球・ウォーキング)する方々とその知り合いの皆さんが参加して実施しました。

参加者は、ゼッケンに「平和の願い」を思い思いに書き込みそれぞれの種目に参加をした。また、実行委員会事務局は体調異変も想定して従来通り、看護師3名と各種目の実行委員に【AED】を持参させた。

クロージングセレモニーでは各種目の表彰に加えて、ミニ音楽会も開催した。

その後、場所を変えて北海道の味覚、成吉思汗を食し参加者が各協議会の垣根を越えて、大いに盛り上がり楽しいひと時を過ごした。



ウォークの皆さん 無事到着！



10キロ個人 ゴール目指して走る！

## 札幌市 スポーツ要望

昨年10月31日、札幌市に対しスポーツ施設の改善等に関する要請書を提出しました。今回は2030年に冬季オリンピック・パラリンピック札幌招致を予定している案件についても要請書に盛り込みました。文書回答が11月19日にあり、これを基に11月20日、札幌市スポーツ局が入っている敷島北1条ビルに於いて、「札幌市スポーツ施設要望への回答及び意見交流会」が開かれました。札幌市からは、スポーツ局スポーツ課、みどりの課、土木維持管理課、招致推進部が出席、新日本スポーツ連盟北海道連盟からは島崎理事長をはじめ、10名と市議等2名が出席しました。

### 『主な成果の紹介』

【登山】①三角山頂上の草木の刈取りが実施された(眺望が良くなった)②「さっぽろ自然歩道ガイドマップ」はわかりやすい表示に工夫等をして令和2年に新たに作成(藻岩山・三角山・大倉山等掲載)

【スキー】藻岩山スキー場に関して……①北斜面ロッジ更新時には、利用しやすい施設となるように配慮する②駐車車両のスリップや歩行者の転倒防止策として、滑り止めの砂の散布と駐車場誘導員による注意喚起を徹底する。

**【卓球】** 老朽化している備品等は、応急処置での対応としてテープ等で補修をし、緊急性の高いものから備品購入を進めていきたい。

**【野球】** ①農試公園は 2020 年から公園全体の再整備工事を行い、野球場の施設改善も実施する②グラウンドの日常の維持管理において、利用に支障のない整備をしていく。

### 【オリンピック・パラリンピック招致に関して】

- ① 各ワークショップや区民ミーティングの意見については、集約・分析後、報告書としてまとめ、札幌市公式ホームページなどを通じて公表する。
- ② 平成 27 年から積立てを行っているオリンピック・パラリンピック基金の活用などにより、冬季オリンピックに係らない各種スポーツ施設の老朽化に伴う改修や市民生活に係る予算が抑制されることがないよう努めるとともに、出前講座などの機会を通じて、市民の皆様にも市の考えを伝えていく。

## 【各種目活動報告】

### 道央地区勤労者山岳連盟

#### 第 48 回登山研究集会開催される

2019 年 11 月 9 日～10 日の 2 日間にわたって札幌市教育文化会館で開かれた。1 日目は探検家の成瀬陽一氏の「俺は沢ヤ！！」のタイトルで講演を行いました。いろいろな経験をもとに面白おかしく、また危険な目にあった知己の話など、沢をやっている人以外にも興味がわく話がたくさんありました。2 日目は各分科会に分かれて基調講演を基に活発な意見交換をしました。「登山文化部門」では山ご飯をテーマに、運動生理学における代謝エネルギーを考えたうえでの“山めしレシピ”の紹介がありました。「遭難対策部門」では“山岳団体における山行管理と山行承認”の基調講演後に各会の山行管理ルールの事例紹介を発表してかっぱつないけんこうかんをしました。「海外登山部門」では“そうだ！ネパールに行こう”をテーマに海外登山経験者の方々に貴重な話をしてもらい、ネパールとヒマラヤが魅力いっぱいであることを伝えてもらう場となった。「自然保護部門」では”ヒグマの生態と対策“をテーマに我々がヒグマの生態を知り、いかに共生していくか等、貴重な基調講演であった。今年の新しい試みとしての山道具バザール展を開催したが、告知不足の感があり、今後の課題として展開方法等の再検討をする。ゲスト講師が各部門で基調講演をして、内容の充実、意見交換等の質のお工場がみられ、今後もさらなる高みを目指していきたい。



第二分科会「山行管理」

第二分科会「自然保護」  
罌の足跡



全体集会

## スキー協

### 指導員研修会開催される

12月14日～15日、札幌国際スキー場において道央圏のスキー協指導員51名が今シーズンのテーマに従い研修を行いました。研修した内容は、スキーの性能を生かした安全で楽しいスキーを目指してです。それぞれのクラブ、地域、スキー協の行事等で具体的内容が広められていきます。



### スキーフェスティバル

第39回スキーフェスティバルが2020年2月8日～9日富良野スキー場で開催されます。

グループ別滑走は、スノーボード、コブ、ゆっくり滑り、ガンガン滑り等6コース。指導員受験コース、スキー技術



検定コース、歩くスキー、山スキーに分かれて2日間それぞれの滑りを楽しまします。夜は恒例の夕食交流会で、クラブ交流、お楽しみ抽選会で大いに盛り上がると思います。

## 北海道ウォーキングクラブ

クラブ設立時から、野幌森林公園をメインフィールドに夏冬を通して歩いています。新しい会員を迎えながら、真冬の野幌原始林から大雪山1600mの高地ウォークまで楽しく元気に活動をしています。現在、30名ほどの会員で北大構内の春の花々や秋のイチョウ並木の黄葉など近隣の自然豊かな公園の散策を含めて活動しています。会員の行ってみたいコースを探しながら健康ウォーキングを目標に歩き続けています。ウォーキングはスポーツにちょっと触れてみたい方から負担のかかる競技スポーツは無理になった方まで身体の状態に合わせた参加が可能なスポーツです。雨具とウォーキング清水があればどなたでも参加できます。今年も旭岳の裾合平を歩く「バス例会」を予定しています。雪深い冬にも元気に活動する雪ウサギやエゾリス・野ネズミたちの足跡を楽しみなが

旭岳の裾合平を歩く



ら、倶楽部も冬眠することなく活動しています。

## 🏃 「札幌ゆっくりーズランニングクラブ」

### 第5回総会終える

昨年12月12日、第5回総会を「きたえる」で開催しました。昨年1年間、例会ランニング会22回《前年17回 延べ241人+α(182人) 平均14.1人(10.7人)》を開催。開催場所は、ここロード・きたえる・北大構内・真駒内公園・新中央体育館などで行いました。また、会の行事はボーリング&新年会、ニセコ登山とランニング(合宿)、小金湯まらにつく(16キロ)などの他、オホーツクあばしりまらそん(15名)・うらうす友達マラソン(13名)・日刊スポーツ



豊平川マラソン(13名)など、各種マラソン大会に下位グループで参加しました。9月8日の第5回平和大好きラン&ウォークには16名参加しました。会員も少しずつ増え、現職会員も参加できるように、ナイトラン・土曜欄も取り入れいきます。

ただひたすら練習するのではなく、四季折々の風景やおしゃべり、温泉、宴会などを通じてランニングを楽しむという、ゆっくりーズのコンセプトはこれからも継続していきます。

## 北海道テニス協議会

### 《新たな出発》

北海道テニス協議会は、昨年度は、一時休会となりましたが「誰もが運営可能な身の丈にあった運営」をコンセプトに、令和元年6月より令和元年度新たな出発を遂げました

無事に屋外大会は10月で終了し、現在は次年度に向け、多くの皆さんに楽しんでいただけるような大会運営に向け検討をしております。今回から大会告知や結果はSNSを利用して情報発信を行っております。2020年も宜しくお願い致します。

